2026年9月1日

各　位

エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社

2026年　8月度　売上速報

■ 百貨店事業

阪急阪神百貨店	売上高前年比(%)
阪急本店	110.0
阪神梅田本店	105.4
支店計	102.3
全店計	106.8

※2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」を適用しておりますが、月次の売上速報および営業概況につきましては、当該基準等適用前の取扱高で開示しております。

○ 全店の概況

- 国内顧客の売上高、免税売上高、いずれも前年を上回り好調継続。特に、13日から15日のお盆休み期間は、売上高前年比が2ケタの伸長率で推移し賑わいを見せた。また、前月に続き都心店全店が前年の売上高を上回り、中でも阪急本店は約1割増と牽引。また、郊外店合計も前年の売上高を上回った。
- 中国からのツーリストの売上高は前年の約5割減と厳しい状況が続くものの、中国を含む海外VIPは前年に対して約5割増と高伸し、免税売上高全体として3月以降継続して前年を上回り、かつ8月として過去最高を更新。
- 阪神梅田本店は、大型催事の開催時期後ろ倒しの影響があるものの、催事等を除いた店頭売上は約1割増と好調継続。中でもファッション・ライフスタルカテゴリーの売上高は前年に対して約2割増、食品も約1割増と高い伸びを維持。

○ 阪急本店の概況

- 国内顧客・免税・店舗全体の売上高がいずれも8月として過去最高を更新、また4月以降2ケタ伸長が継続。中でも国内顧客の売上高は、過去最高だった前年に対しても約1割増と高い伸びを見せた。
- 5・6階『HANKYU LUXURY』を中心に、高額商材の売上が牽引し全館の100万円以上の高額品売上高は前年に対し約3割増と引き続き大きな伸びを示した。インターナショナルブティックスは前年の売上高に対して約3割増と高伸、宝飾品・時計も約1割増と好調。引き続きブライダルニーズの好調なアクセサリーも約2割増と大きく売上を伸ばした。
- 猛暑が続く中、夏のファッションが引き続き稼働。モード・コンテンポラリーファッションでは前年の売上高に対して約1割増と好調。アイテムではTシャツ、パラソル、サンダルの売上高が前年に対し2ケタの伸長で牽引。
- 毎年好評の、人気キャラクターとコラボレーションした全館連動イベントを8月12日から2週間開催。メイン会場となる9階では、オリジナルデザインのグッズに加え、出店ブランドの限定アイテムのラインアップが拡充し、話題化とともに売上に寄与。
  また、連日多くのお客様にご来店いただく中、売場オペレーションの見直しなども奏功し、お買い物環境の改善につながり、同催事として過去最高の売上高を更新。

※過去1年間の売上高推移

前年比(%)

	2025年度								2026年度				
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
阪急本店	103.1	99.2	104.9	100.7	93.2	100.7	95.9	107.0	111.7	117.0	117.8	116.6	110.0
阪神梅田本店	118.3	134.0	112.7	122.9	107.4	136.5	126.3	119.2	127.2	126.0	111.9	116.8	105.4
支店計	104.1	99.4	102.6	102.8	97.1	101.4	99.0	101.5	105.1	108.6	100.9	104.1	102.3
全店計	105.1	103.2	104.9	103.6	96.0	104.1	99.8	106.4	110.9	115.1	111.1	112.2	106.8

■ 食品事業

食品スーパー計	売上高前年比(%)
既存店 計	99.6

★数値は速報値のため、確報値とは誤差が生じることがあります。

＜本件に関するお問い合わせ先＞
エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社　メディアリレーション部　TEL:06-6367-3181